

同窓会とインターネット

支部長 笠井 ひで子 (昭 44 年卒)

支部長 7 年目になります。こんなに長くなるとは思いませんでした。柄にもないことをよくやっているものだと自分でも思いますが、何が楽しいかというと、色々な人に出会えること。役員、準備学年、ご来賓、先輩、後輩、毎年様々な魅力、特技を持った方々にお会いできます。おしゃべりするだけでなく一緒に何かをやりと、お互い本性が出ますのでより親しくなれます。自身を省みると怖くもありますが、もう古狸ですので何とでも思ってくれと開き直っています。

同窓会は 3 世代の年齢の開きのある集団です。若い人から見れば先輩はお母さん、おばあちゃんなのでしょうが、先輩から見るといくつ離れていようと「妹」なのです。この気持ち分かって頂けますか。

世代が違ふと「当たり前」と思うことがかなり違ってきます。その大きく違ふことの一つが I T ・情

報技術に関する事だと思ひます。友達との連絡には住所や電話番号を交換し、手紙や電話でやりとりしていたものが、メールになりラインになり、どこにいようと何をしようとしてピッと繋がってしまいます。今の会合の様子がすぐ支部のホームページに載っていたりすると目を回してしまいそうです。

今頃何を言っているのかと思ひあなた若い。同感のあなたは私の同世代人です。

自分の当り前が通じない世代の違ふ人たちがいてしかも同郷同窓という共通ベースがあり、お互い折り合い刺激し合つて繋がっていく。同窓会というのは何と面白いものではないでしょうか。

また総会で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。あなたの友達はあなたの表情やひと言からたくさんの情報を読み取り、全身で答えてくれます。会つて話す以上の情報交換はないと思ひます。

緩やかに繋がり続けるために

広報 田中 由紀 (昭 60 年卒)

少し前のホームページに、同窓会入会式で当時の校長先生が引用された「弱い紐帯の強み」という言葉を掲載したことがあります。アメリカの社会学者マーク・グラノヴェッターの説で、「まさに同窓会は、頻りに会うわけではないが緩やかに繋がり続けることで強さを発揮する場」と、卒業生に仰つていた言葉が強く印象に残つたからです。

これまでは、役員が同窓会名簿で連絡先を調べ、お一人お一人に電話をかけ、手紙を書き、同窓会の紐帯を強く保つてきました。しかし昨今、個人情報保護や防犯意識の高まりからか、知らない番号からの電話には出ない、知らない人の手紙には応答しないというケースが増えてきました。

広報を担当するようになり、そうした事態を打開する努力の一端として、ホームページを刷新し、東京支部のフェイスブックページを設置しました。

フェイスブックは実名登録が原則で、出身地や出身校も入力できることから、多くの学校の同窓会が

広報の窓口としてページを設けています。

つまり、電話などで直接的に繋がることに不安を感じる人が増える傾向にあるのに対し、インターネットという仮想空間の中に「弱い紐帯」を作ること、「なんとなく」母校に繋がっていたいという人たちと、「緩やかに繋がり続けること」も大切にしていこうという試みです。

例えば、昨年の総会で歌われた旧校歌の動画を支部のフェイスブックページに投稿したところ、2 週間で 200 回以上も再生されました。また、これまで繋がっていなかった方々から「いいね」ボタンも押しいただきました。反応としては小さく弱いものかもしれませんが、こうした積み重ねも東京支部を支えていくものと手ごたえを感じています。

ぜひ一度、嚶鳴同窓会東京支部のホームページ、またはフェイスブックページをご覧ください。皆様のご意見や情報のひとつひとつが、支部の活動を支える強い力となります。ご協力をお願いいたします。

□■□ 総会準備学年より

城 幸子 (平成元年卒)

今年度の支部総会の準備は平成元年卒が担当させていただきます。「平成元年卒」という響きに、時の流れを感じられる方も多いことと思います。総会が皆様の心に残る、あたたかい時間となるよう、先輩方のお知恵、お力をお借りしながら少しずつ準備を進めております。

当日は栗野紘子先生にお越しいたいただきます。先生は西高の卒業生でもあり、昭和 61 年から平成 19 年の 12 年に渡り西高で教鞭を取られました。英語のご担当で、凜とした佇まい、それでいてお優しく温かいお人柄。何でも相談したくなる、私たちの憧れの先生でした。お会いしてお話を伺えるのを、今から心待ちにしています。

またエンターテイメントは、東京嚶鳴女声合唱団と平成元年卒のオペラ歌手武内朋子さんによる『17 人のミューズ達〜ふるさとの調べ・恋の歌〜』です。武内さんは、国立音楽大学大学院オペラ科修了後、フランス、スイスを中心に 15 年に渡り活動し、数多くの大きな舞台に立たれました。現在は日本でオペラ、日本総領事主催によるコンサート、フランス歌曲リサイタルと幅広く活躍され、母校で教鞭もとられています。素晴らしい歌声がとても楽しみです。

この度、総会準備を通して、懐かしい友との嬉しい再会の機会を得られた事に感謝しています。素敵な先輩・後輩と共に故郷山形に思いを馳せながら実りある総会を目指して準備に励んで参ります。

平成 27 年度 活動報告

1月	21日	新旧役員会・監査・引継ぎ
2月	18日	第1回評議員会/役員・総会準備学年会
	27日	東京支部プレゼンテーション(本部同窓会入会式にて)
4月	6日	総会準備学年打ち合わせ・案内状準備
	8日	第2回評議員会/役員・準備学年会
5月	13日	第3回評議員会/役員・準備学年会
5月	30日	総会準備最終打ち合わせ(於:ホテルオークラ東京)
6月	7日	嚶鳴同窓会東京支部総会
	17日	役員会
	24日	第4回評議員会/役員・準備学年反省会
9月	12日	第10回ウェルカムパーティー(於:コルポデラストレーガ)
10月	22日	総会準備学年引継ぎ会(63年卒から平成元年卒へ)
11月	1日	嚶鳴同窓会本部総会出席
	18日	役員会

平成 28 年度 東京支部役員	
支 部 長 笠井ひで子(昭 44 年卒)	監 査 岡田スミ子(昭 30 年卒)
副支部長 鹿野 由貴(昭 48 年卒)	〃 田中 恭子(昭 50 年卒)
〃 宮川 香子(昭 58 年卒)	顧 問 遠藤 倭久(昭 30 年卒)
庶 務 川田まき子(昭 47 年卒)	〃 田中 克子(昭 32 年卒)
〃 渡部 郁子(昭 49 年卒)	
会 計 曾我 淳子(昭 60 年卒)	平成 28 年度 総会準備学年
〃 城田 素子(昭 61 年卒)	代 表 城 幸子(平成元年卒)
広 報 田中 由紀(昭 60 年卒)	沼澤香央里

◇ 今年は役員改選の年にあたり、田中克子さん(昭 32 年卒)を委員長とする選考委員会が設置され、副支部長 2 名が選出されました。庶務・会計は、学年の順送りとなっており、当該学年より推薦されます。顧問・監査については、支部長が選任いたしました。

お知らせ
嚶鳴同窓会東京支部のホームページとメールアドレスが新しくなりました。
ホームページ <http://www.oumeitokyo.net/>
Facebook ページ <https://www.facebook.com/oumeitokyo/>
メールアドレス dousoukai@oumeitokyo.net

支部へのご登録・連絡先変更・お問い合わせは、ホームページの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。(支部の Facebook ページは登録しなくてもご覧いただけます。)

平成 27 年度 会計報告

	支部長 笠井ひで子
	会 計 三摩亜紀子
	曾我 淳子
<一般会計>	
1.収入の部	
前年度より繰越	1,912,056 円
年会費	1,059,180 円
総会会費	2,940,000 円
特別会計より新卒生総会参加費補助	30,000 円
本部より助成金	150,000 円
ご祝儀	60,000 円
雑収入	393 円
計	6,151,629 円
2.支出の部	
会議費	164,021 円
印刷費	73,256 円
事務用品費	36,599 円
通信費	274,360 円
渉外費	70,160 円
役員・準備学年活動費	140,000 円
事業費	
総会	3,180,743 円
ウェルカムパーティー	31,500 円
東京支部プレゼンテーション	4,428 円
ホームページ	6,100 円
計	3,981,167 円
3.差引残高	2,170,462 円
*1月~6月の運営費として、平成 28 年度へ繰り越し	
<特別会計(一筆箋・はがき)>	
1.収入の部	
前年度より繰越	364,948 円
一筆箋売上げ	65,500 円
新はがき売上げ	11,500 円
口座利子	89 円
計	442,037 円
2.支出の部	
新卒生総会参加費補助として一般会計	30,000 円
計	30,000 円
3.差引残高	412,037 円
<監査報告>	
帳簿・領収書等を照合の結果、適正に行われていることを認めます。	
監 査	平川範子、岡田スミ子

支部だより担当 田中 由紀(昭 60 年卒)